

# 株式会社 太田精器 【奈井江町】

- ・代表者 代表取締役 太田裕治
- ・事業内容 金型ラッピング(研磨)加工、各種部品精密微細加工
- ・設立 昭和55年(1980年)
- ・資本金 1000万円
- ・従業員数 58名(パート含む)
- ・住所 〒079-0314 奈井江町字茶志内89番地6
- ・電話番号 (0125) 65-2759
- ・FAX番号 (0125) 65-2765
- ・E-Mail hokkaido-naie@ohtaseiki.co.jp
- ・URL <http://www.ohtaseiki.co.jp>

## 究極の技が光る【下町的ものづくり】企業の雄

「日本のものづくり」を語るとき、まず思い起こすのが東京の下町に軒を連ねる町工場ではないでしょうか。そこでは熟練の匠の技が寸分の狂いもない精巧な機械部品を作ったり、金属を鏡のように磨いたり、機械には真似ができない人間の経験と技能が発揮されるシーンを脳裏に浮かべますよね。

太田精器は、まさにこうした熟練工がなせる究極の技を得意とする【下町的ものづくり】企業の本道の代表者です。元々は電子部品の下請け製造からスタートしましたが、取引先のニーズに応えながら微細加工の技術を高め、匠の技を売り物にする技術者集団として本道の産業を支えています。特に同じ奈井江町に立地する北海道住電精密と北海道電機との取引では、両社の製品の品質を保つために重要な役割を担っており、地元経済の発展に貢献しています。

## 空知ビジネスサークル【そらび】会員の横顔

代表取締役 太田裕治(おたゆうじ)さん  
(奈井江町議会議員)



太田精器を率いる太田さんは、まさに【ガッツ】という言葉が似合うパワフルな方です。むかし、田中角栄元首相が《コンピュータ付きブルドーザー》と呼ばれていましたが、太田さんとお会いしたときも同じような印象をお受けしました。

さらに物凄く人情の厚い方とお見受けしました。社員を全身全霊で信頼し、また社員からも兄貴のように頼られている。こうした【熱い】社風を感じた次第です。太田さんの情熱は、北海道のものづくりにとっても頼もしい存在だと思います。

## ラッピング(鏡面研磨加工)では国内最高精度を記録

太田精器の得意とする技術の一つは、ラッピングという金属の鏡面研磨加工です。部品製造の基本は、まずその形状となる金型を作ること。金型は通常機械で作られますが、その表面には肉眼で確認できない凹凸があります。この凹凸が残る金型で成形すると、出来上がった部品の表面にも微妙に歪みが生じ品質低下につながるおそれがあります。同社の真骨頂は、この金型を人間の熟練の技でさらに磨きあげ、表面を寸分の狂いもなく平坦にすることです。こうして磨き上げた金属の表面は鏡のように輝きを放ち、ここから生まれた部品も正確無比の高品質を保つことができるのです。北大電子科学研究所の測定では、同社の研磨技術で仕上げた金属鏡面は1ナノ(10億分の1)以下の精度であり、電子顕微鏡でようやく凹凸を確認できるほどの極めて高い数値として、国内最高レベルの精度であることが証明されました。

## 熟練の匠と最新のMCで【微細加工のコンビニエンス・ストア】を目指す

太田精器の自慢は、全道でもあまり設置されていない最新の微細加工用MC(マシニング・センター=加工工作機械)と人間の熟練の技の両方の強みを持っていること。だから、どんなに難しいリクエストでも大概応える体制が整っています。最近では、日本を代表する電機メーカーから重要部品の開発の提案を受けるほど注目されています。北海道は経済的自立を図るための有効な手段として本州からの企業立地を進めています。しかし、企業がこれに応じて北海道に進出しても、高品質の部品の製造を請け負う協力企業が地域になければ事業の拡張はできません。太田精器は、こうしたリクエストに応えるべく【微細加工のコンビニエンス・ストア】であることを目指しています。高品質で低コスト、短納期、小ロットに自信があるのが同社の身上。こうして、太田社長とスタッフの【ガッツ】が、北海道のものづくりを支える基盤的技術の発展に大いに貢献しています。

